

蔵王から世界へ

ミクロン精密 株式会社

Who is Micron?

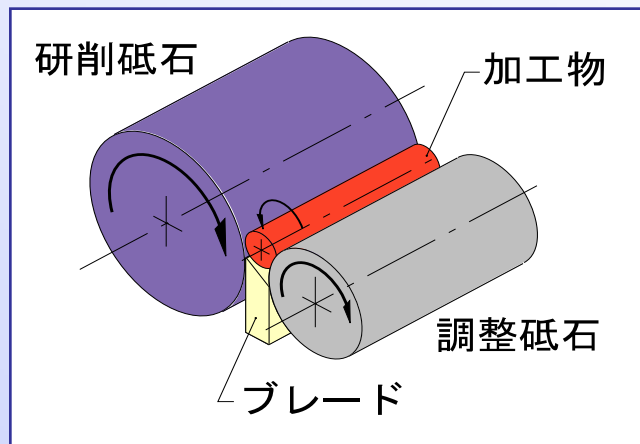
マザーマシンの研削盤メーカー



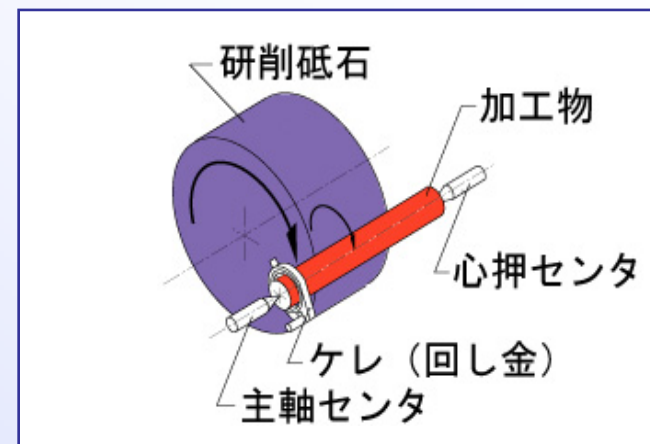
What does Micron do?

●Centerless Grinder 心なし研削盤

丸棒やリング形状の素材に種々の加工を施す工作機械



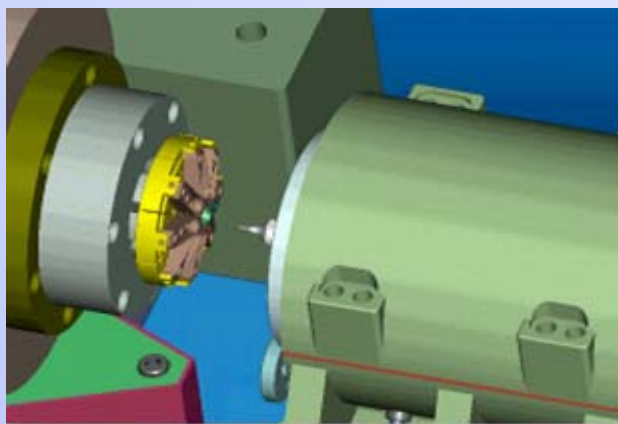
心なし研削



円筒研削

●Internal Grinder 内面研削盤

円筒及びリング形状の加工物の内周面に種々の加工を施す工作機械



Where is Micron's business?



- ◆世界28カ国に納入
- ◆海外子会社
- ◆北米、EU、東南アジア、BRICs

Why Micron?



◆ 技術と人柄

技術の研鑽と人柄の醸成を通じた社会貢献と人格育成

◆ Innovation in Grinding

革新的技術開発による顧客利益の最大化

◆ 蔵王から世界へ

グローバルな事業展開による地域社会への貢献

先輩からのメッセージ

ミクロン精密に入社して早いもので3年が経ちました。当社では自動車等に使われる精密部品を加工する工作機械を製造、販売しています。機械の設計から部品の加工、機械の試運転に至るまでのほとんどの工程を当社内で行っており、幅広い仕事内容が魅力です。

製品の種類は大きく分けて2種類ですが、全てオーダーメイドの機械なので常に新しいことにチャレンジすることが出来ます。

社内講習も活発に行われていて、実践的な分野や私生活においても役立つ知識が身に付けられます。また、お客様は国内外を問わず世界中にいらっしゃるの、地元にながら、貴重なお話を聞くことが出来て楽しい会社です。皆さんも私たちと一緒によりよい製品づくりに参加しませんか？

(T.A 製造部製造課 山形工業高等学校 機械システム科 2007(平成19)年卒)

私は今、機械加工課という部署で、主に立フライス盤を使って加工作業をしています。今の仕事を始めて半年が過ぎ、先輩方の助けがあって、どうにか頑張っています。

ミクロン精密に入社が決まった時、不安しかありませんでした。正直、自分の力ではやっていけないと考えていました。ですが、入社してみると、持っていたイメージが169度ほど変わりました。基本を一から教えてくれるメニューがあるし、周りの先輩方に聞けば、より現場に近い答えを丁寧に教えてくれました。しかもその答えは発想が面白く「そんな方法があるのか」と楽しくなりました。発想が面白いといえば、センタレスという機械こそ、奥が深く仕組みが魅力的です。実際に関わってみないと体感できないので、文字で伝えきれないのが残念です。

先輩方は皆、個性的でパワフルです。毎週フットサルをしたり、時にはソフトボールをしたり。ユーモアのセンスもあって、会話をしているとすごく楽しいです。

先輩方は楽しく、仕事は未知との遭遇ばかりで飽きることなく興味深い。会社からの景色は、百万ドルの山形市。遊んでいるつもりはありませんが、私は毎日楽しく仕事に取り組んでいます。

(K.Y 調達部機械加工課 山形工業高等学校 機械システム科 2009(平成21)年卒)

先輩からのメッセージ

私が入社したミクロン精密は、心なし研削盤、内面研削盤を製作、販売している会社です。鶴岡高専出身の方も、歳の近い先輩から、父親ほど歳が離れている先輩まで、多くの方々が入社していて、この繋がりはとても心強いです。

当社の製品は一つ一つが受注生産の為、私達社員には大きな責任が伴ってきますが、その分やり甲斐があります。

「蔵王から世界へ」を合言葉に、蔵王の麓を拠点として、日本国内だけでなく、世界を相手に、誇りを持って仕事をしています。

(Y. T 技術部技術1課 鶴岡工業高等専門学校 機械工学科2007(平成18)年卒)

入社後2年間、製造部で主にセンタレス研削盤の組立に従事してきました。学生時代は三角関数や、対数などを習っても社会にでてから使う機会があるのかと疑問を持っていましたが、私の職場ではセンタレスグラインダ、インターナルグラインダを使用する前の条件設定等で上記のような学校での勉強の知識を応用し活用しています。またその他の工学系の勉強も学生時代にもっときちんと覚えていれば活用できただろうと思う場面が多数あり、そのような意味では工業系の強みを活かせる職場だと思えます。

当社は完全に受注生産で行っているため、1台ごとお客様のご要望に沿った機械を作るのは大変なことです。その分ライン作業のような単純作業ではなく、手間をかけて自分達の頭で考え、力を合わせて1つの製品を作り上げていくので、非常にやりがいを感じています。

(Y. S 製造部製造課 鶴岡工業高等専門学校 機械工学科 2008(平成20)年卒)

先輩からのメッセージ

センタレスグラインダって？恥ずかしながら自分は自社の一番の製品をよく理解していない状態で入社しました。読んで字のごとく加工する際にセンター（中心）をもたない工作機械ですが、目にしたことが無いですし、想像もできませんでした。（入社したらすぐ機械の仕組みについての講習会があります。）

難しい原理原則様々ありますが、結論、ミクロンオーダーで加工される部品を実際みると感動しますよ！自動車、航空機、家電製品もろもろ、これらは凄まじい数の部品から成りますが、その一点一点の加工精度で動力性能、車ならエコ性能の善し悪しが決まります。普段生活していて便利だなと思うものは、やはりそれなりの技術、努力によって生まれるんだなと感じます。私なんかは、少しオーバーですが、大きな工場などに出張に行った際には、こういうのが日本を支えているのかなとさえ感じたりします。

経験が左右する部分も多少ありますが、そのような工作機械を一から設計し、製作、試運転までオリジナルでできさらに自社ブランドのロゴを付け、お客様に提供している会社は山形県内をみても少ないはずです。拘りを持って仕事ができます。

自分の学んだことがどんな場面で生きてくるの？というとなかなか想像できませんが、自分が何か魅力を感じて買い物をするときと同じように、お客様の欲しがる魅力のある機械作りの中に、きっとあります。

(H. O 設計部制御1課 山形大学 工学部 機械システム工学科 2006(平成18)年卒)

私は入社と同時に製造部に配属され、機械組み立ての仕事をする事となりました。製造の仕事は、流れ作業という同じ事を繰り返す作業ではなく、1台の機械を数人で組み立てていく作業でした。大きく、難しいプラモデルを組み立てるイメージです。

入社した当時は機械の組み立て方はもちろんのこと、ドリルの使い方やボルトの種類等、わからない事がたくさんありましたが、図面を読みながら機械を組み立てる際は、大学で学んだ知識を活かせたと思います。

製造部には約1年間在籍し、今は技術2課で仕事をしています。今の部署でも三角関数や確立分布等、学生時代に学んだ知識が必要になる場面が多々あり、社会に出てからの数学の必要性を実感しているところです。

入社して3年が経ちましたが、まだまだ教わる事がたくさんあり、仕事の奥深さを感じています。そして、それらを理解し、たとえ些細な事でも達成あるいは成功した時には仕事にとてもやりがいを感じています。

(K. O 技術部技術2課 山形大学 工学部 機械システム工学科 2007(平成19)年卒)

入社してから、あっという間に2年が過ぎました。当社は心なし研削盤、内面研削盤および周辺装置を製造する研削盤メーカーです。国内はもちろん、欧米やアジアなど世界中のユーザーから高い評価をいただいております。私はそこに惹かれこの会社を選びました。最初の2年間は製造部にて組立の仕事をしていましたが、そのほか、違う部署でも様々な手伝いもし、その中で勉強させてもらっています。実際に自分が組み立てた機械が製品となってお客様のところで活躍することにとっても意義を感じています。今年から、技術部に配属され、中国ユーザーへの営業担当になり、日中間の橋渡しとして貢献したいと思っています。

当社は、社員が一丸となり、若手社員にも仕事を任せてもらえます。先輩や上司が丁寧に指導してくれますし、良い提案はすぐ取り入れてもらえます。また、社員間の交流も多く、社員旅行や芋煮会、花見などもあり充実した社会人生活を楽しんでいます。

後輩へのメッセージ

就職は今までの学生時代を終え、人生最大の大きな岐路の一つだと思っています。自分のやりたい分野が必ず専攻と一致するとは限りませんから、理系、文系、専攻にとらわれず自分が何をやりたいのかを、もっと慎重に考え直すべきだと思っています。

当社では実際に文系出身で技術の仕事をしている人もいます。専攻に拘らず自分に合う仕事を与えてくれる会社だと思っています。入社してから学ぶ専門知識の方が学生時代より圧倒的に多く、本人のやり甲斐が満たされる会社を選ぶことが一番重要だと思います。

(C. J 技術部技術1課 山形大学 人文学部 人間文化学科 2008(平成20)年卒 中国出身)

蔵王から世界を目指して

